

株式会社 **フコク** 第67回定時株主総会
(継続会)

事業報告

海外

- ・ 当初、米国景気は堅調に推移
- ・ 米中貿易摩擦による中国他の景気減退
- ・ 年初来、新型コロナウイルス感染症の影響が世界的に拡大

日本

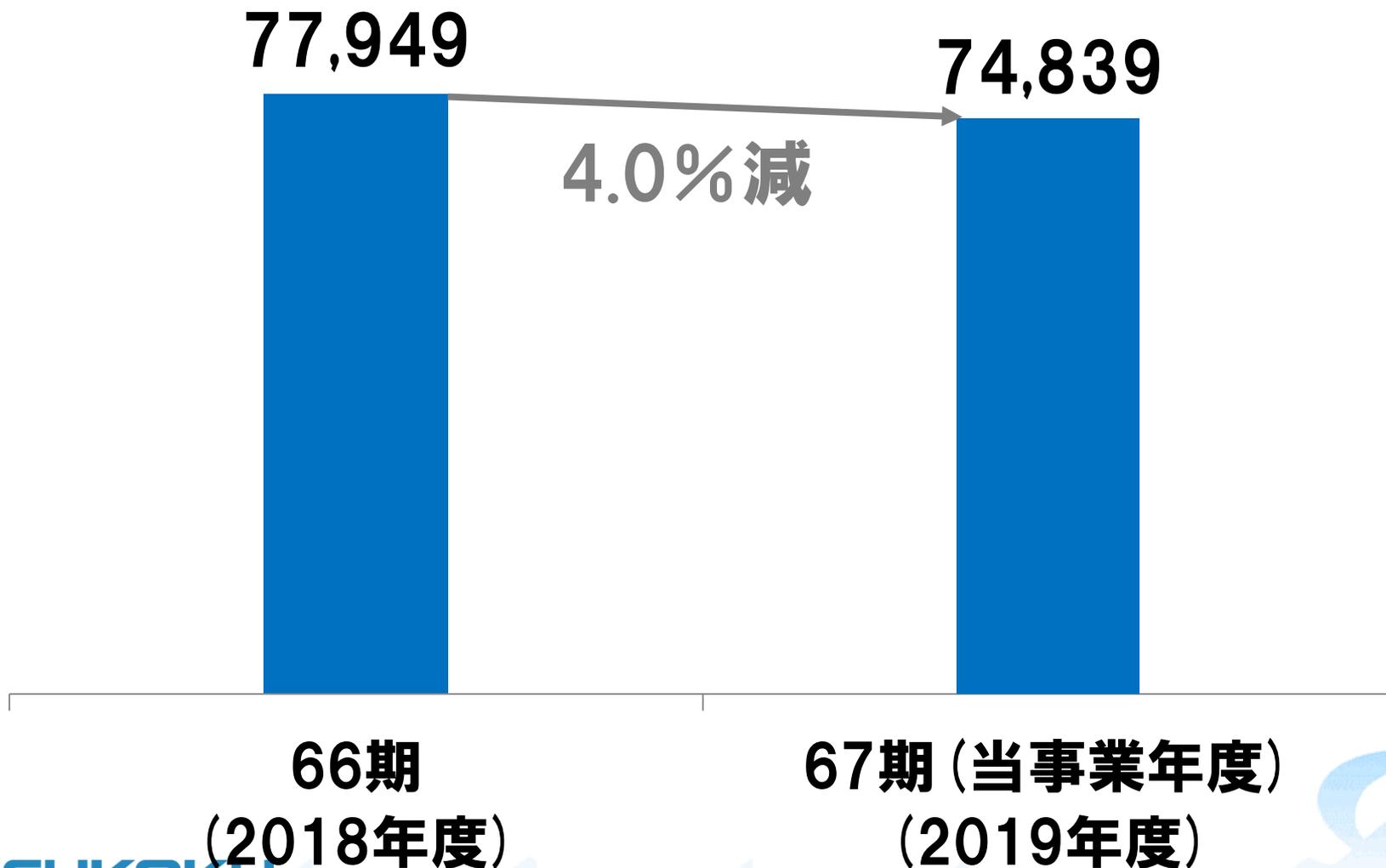
- ・ 当初、雇用情勢の安定、堅調な設備投資
- ・ 貿易摩擦、自然災害、消費税増税の懸念
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響深刻化

自動車産業

- ・ 自動車産業の市場構造の変化
- ・ 自動車生産の伸び悩み傾向
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により各地で生産活動停止

フコクグループの連結売上高

単位:百万円



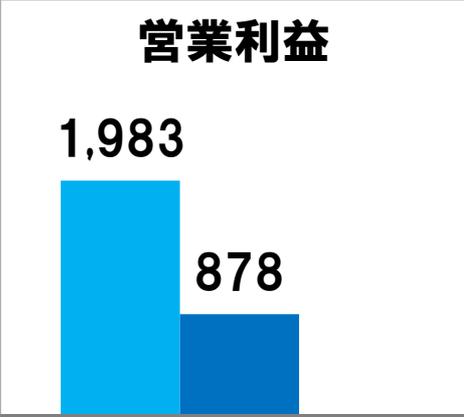
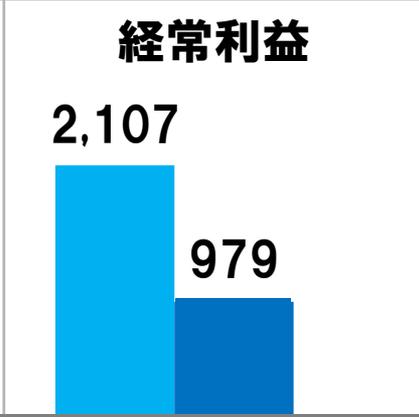
当事業年度の事業の状況

単位：百万円

■ 66期 (2018年度)

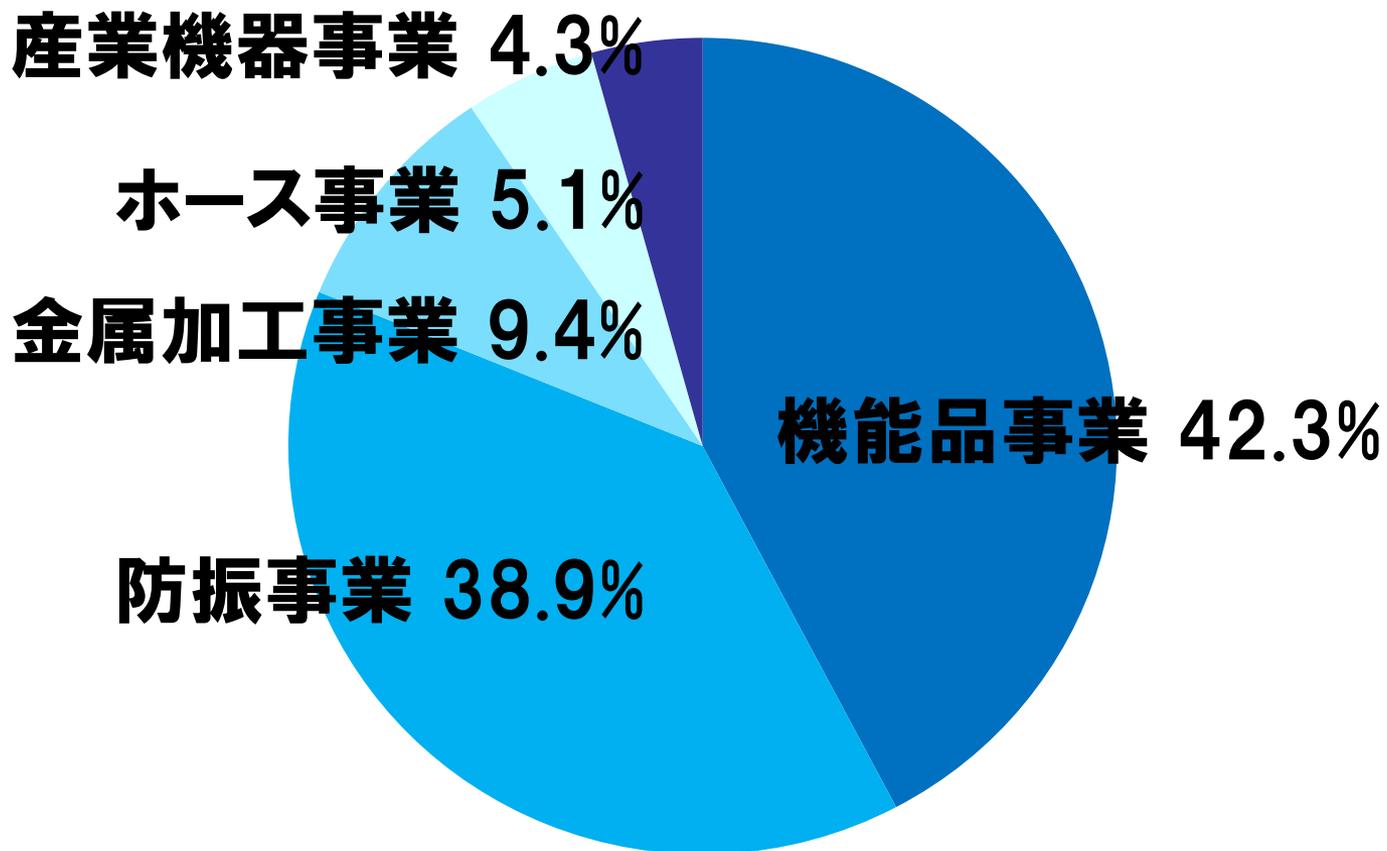
■ 67期 (2019年度)

フコクグループの連結利益

	営業利益	経常利益	当期純利益
	 <p>1,983 878</p>	 <p>2,107 979</p>	 <p>309 △2,690</p>
66期 (2018年度)	1,983	2,107	△2,690
67期 (2019年度)	878	979	309
前年比	△55.7%	△53.5%	-

当事業年度の事業の状況

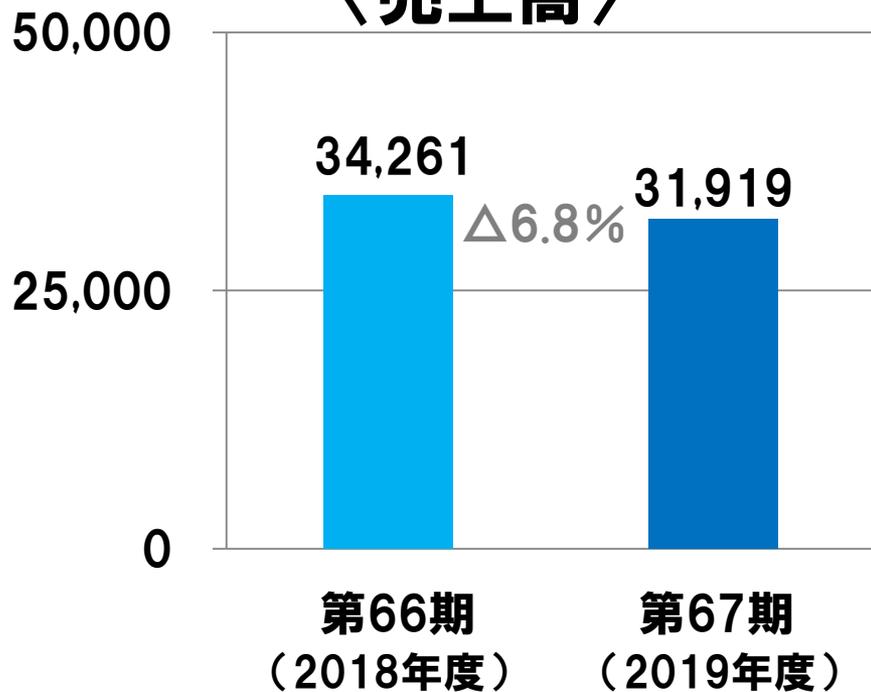
<事業別売上高の構成>



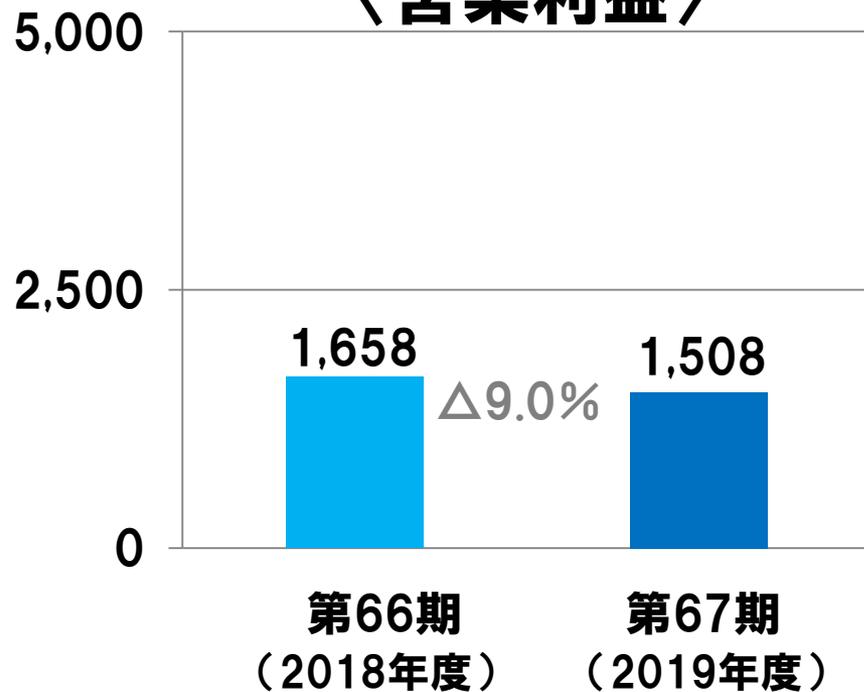
<機能品事業>

単位:百万円

<売上高>



<営業利益>



ワイパーブレードラバー



ダイヤフラム

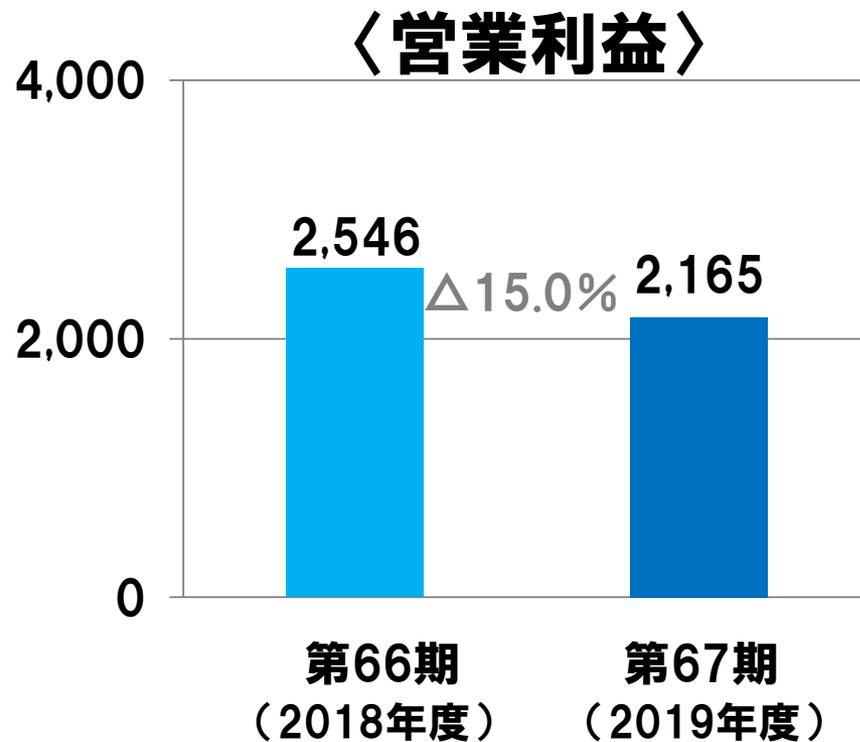
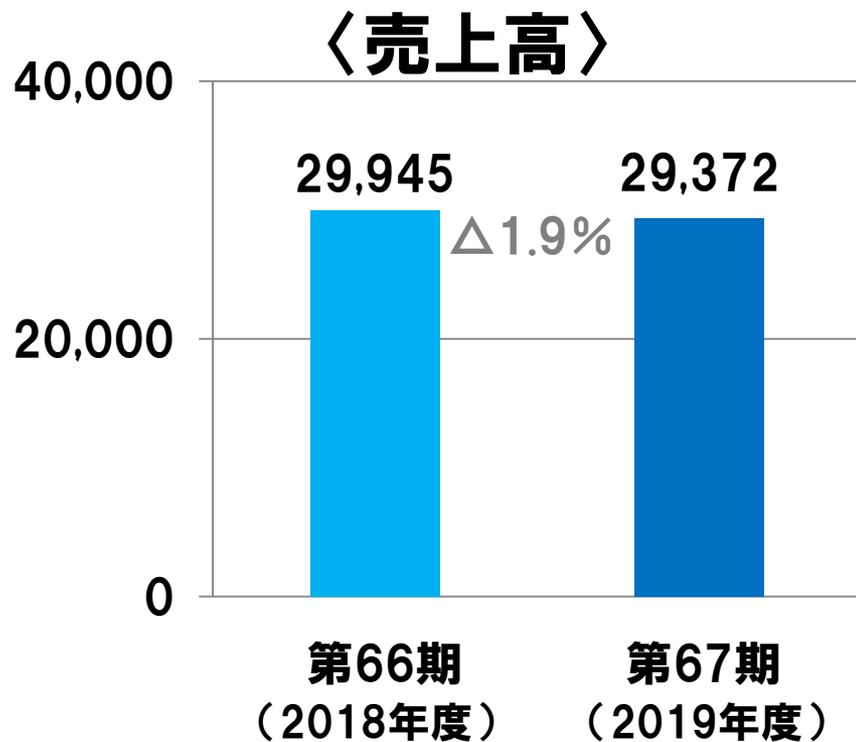


CVJブーツ



＜防振事業＞

単位:百万円



ビスカスマウント

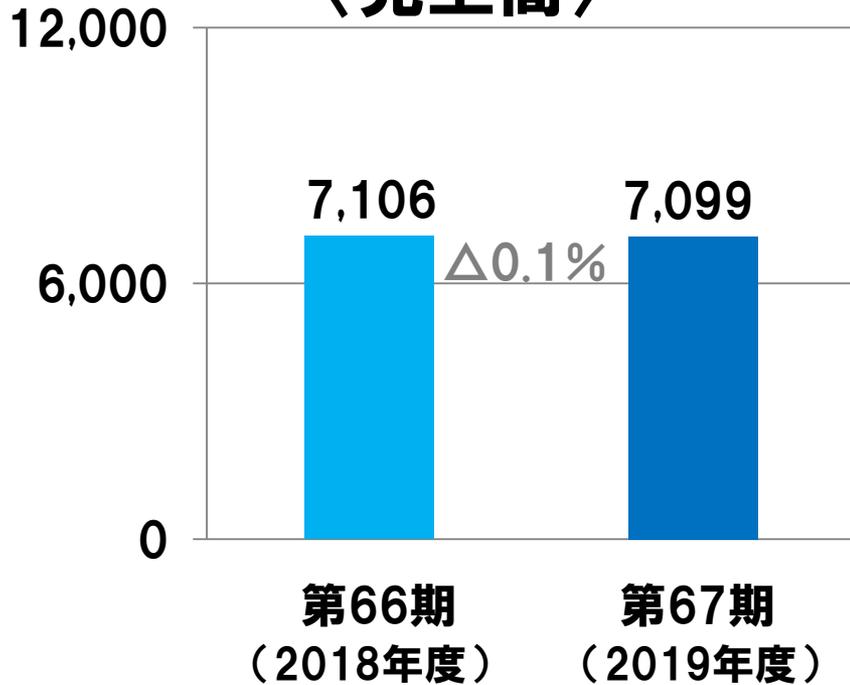


ダンパープーリー

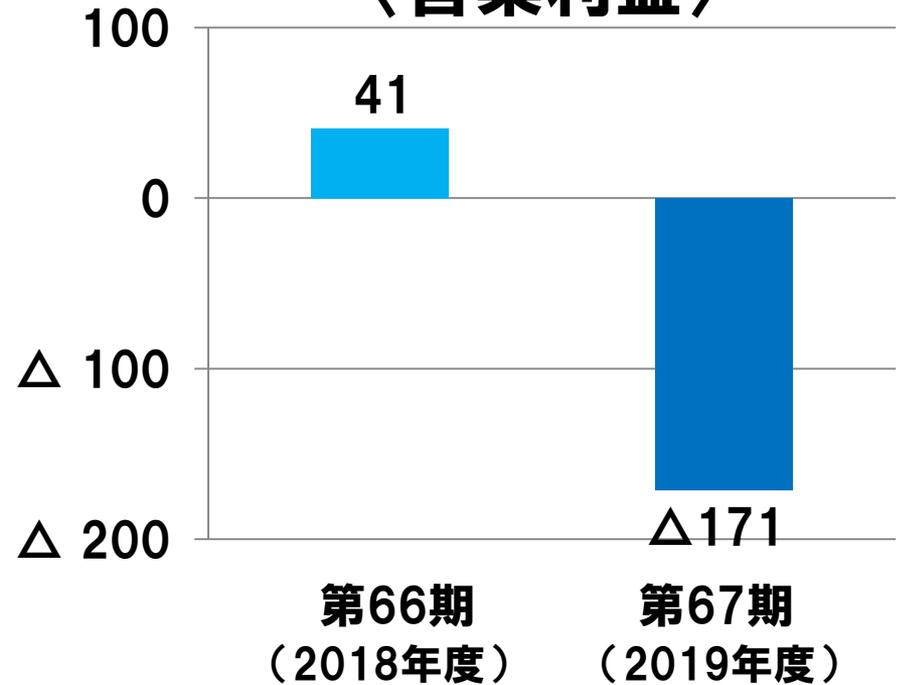
< 金属加工事業 >

単位: 百万円

< 売上高 >



< 営業利益 >



燃料タンク



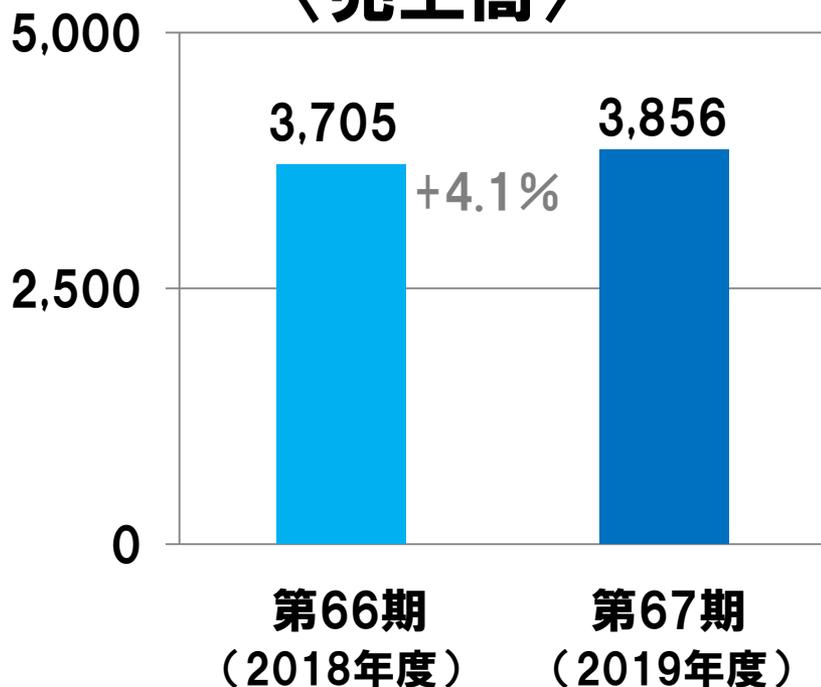
プロペラシャフト

当事業年度の事業の状況

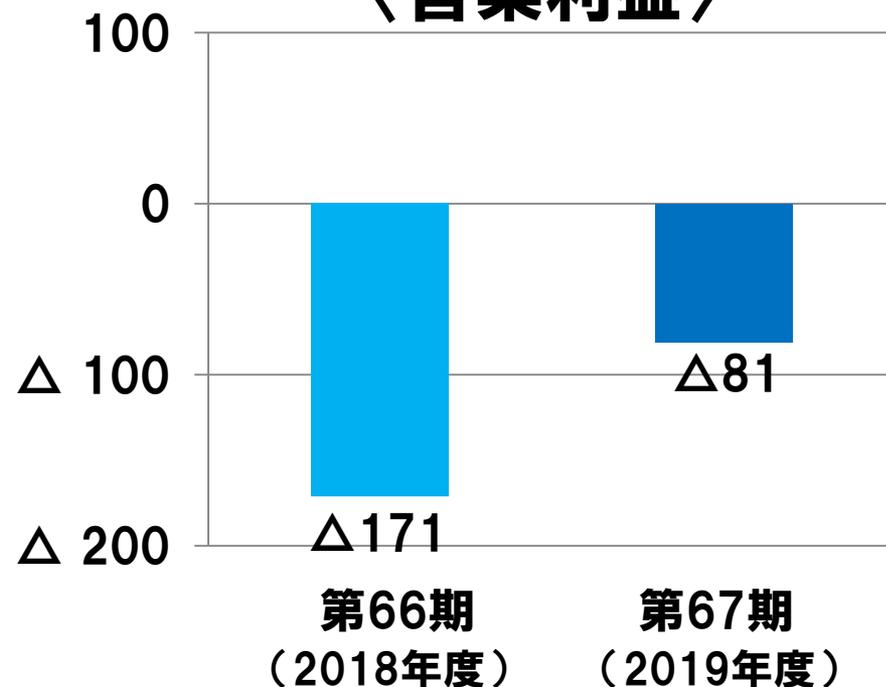
<ホース事業>

単位:百万円

<売上高>



<営業利益>



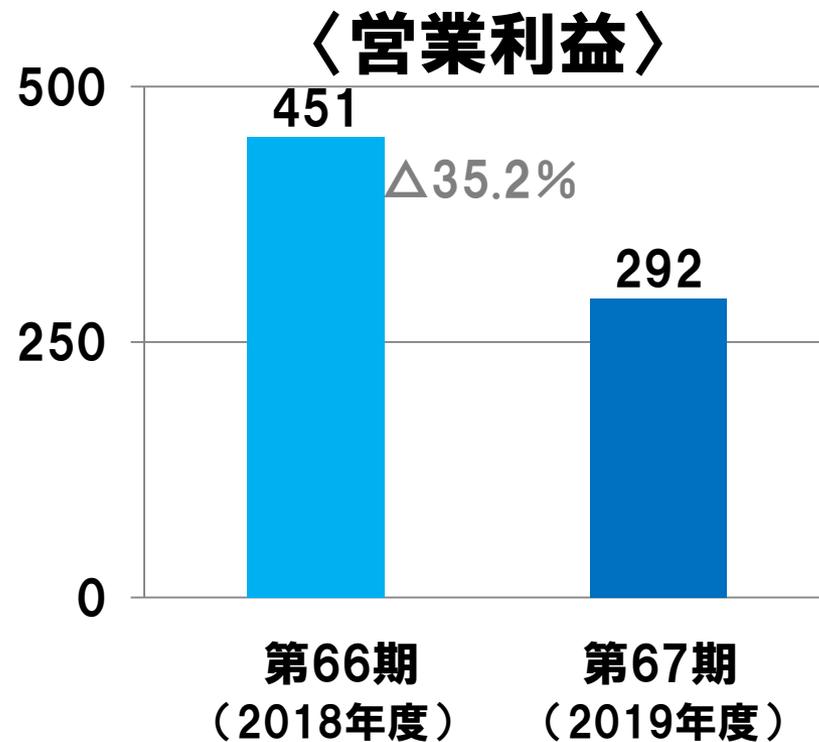
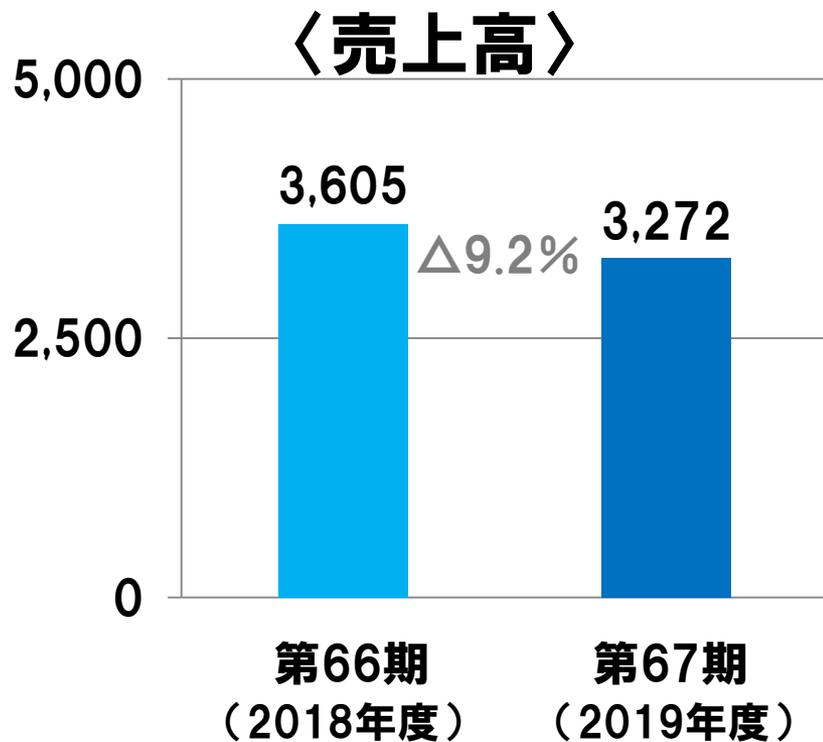
インタークーラーホース



ウォーターホース

<産業機器事業>

単位:百万円



Φ FUI プリンターローラー



超音波モータ



培養バッグ/培地

財産及び損益の状況

<連結>

単位:百万円

	第64期 (2016年度)	第65期 (2017年度)	第66期 (2018年度)	第67期 (2019年度)
売上高	70,663	75,224	77,949	74,839
経常利益	3,365	2,760	2,107	979
親会社株主に帰属する当期純利益または純損失	2,137	△243	△2,690	309
1株当たり当期純利益または純損失 (円)	128.15	△14.72	△162.45	18.67
総資産	65,153	70,367	67,584	65,246
純資産	35,712	36,178	32,036	31,941

世界情勢

新型コロナウイルス感染症の影響

課題（自動車産業）

- 新型コロナウイルス感染症による環境変化への対応
- CASE・MaaSに代表される技術革新への対応
- 新興国市場への進出のあり方

連結計算書類

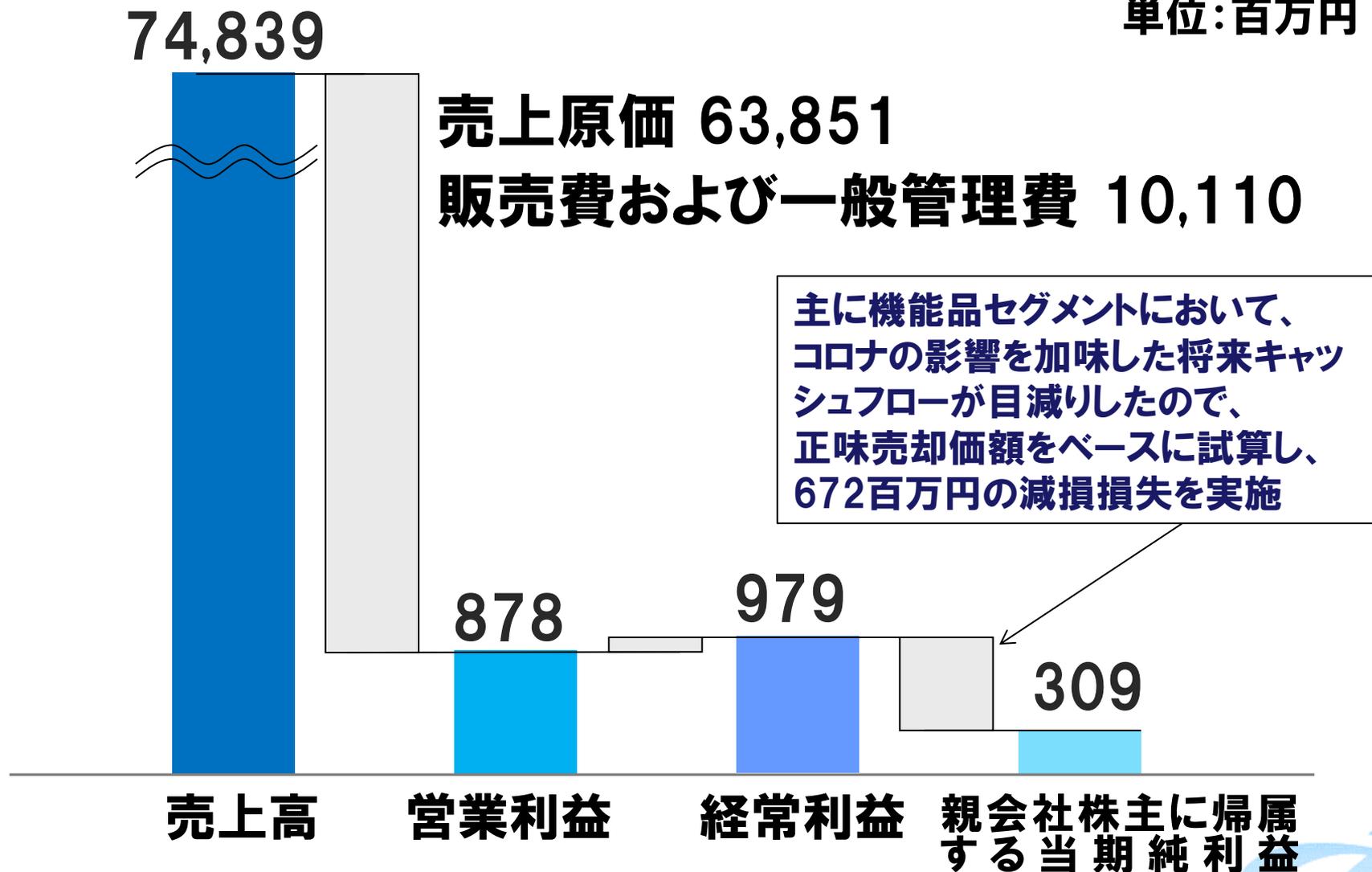
連結貸借対照表

単位:百万円

資産の部	66期	67期	前期末差
流動資産	38,251	36,323	△1,928
固定資産	29,333	28,923	△410
資産合計	67,584	65,246	△2,338
負債・ 純資産の部	66期	67期	前期末差
流動負債	26,780	24,712	△2,068
固定負債	8,767	8,593	△174
負債合計	35,548	33,305	△2,242
純資産	32,036	31,941	△95
負債・純資産	67,584	65,246	△2,338

連結損益計算書

単位:百万円



新型コロナウイルス対策

- 中国において2020年1月の春節休暇頃から新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が顕著になり、春節休暇の延長、工場の操業停止措置がとられた結果、中国子会社の操業に影響が出始めた。
- その後感染が各国に広がった結果、ロックダウン等の規制措置がとられ、中国以外の在外子会社の操業にも影響が及んだ。
- 日本国内では、政府から4月7日に発令された緊急事態宣言を受け、在宅勤務を含む安全対策とともに事業維持のための経営の諸対策も本格化した。



20年1月頃～

(1) 従業員の健康管理と感染拡大の抑制

20年3月頃～

(2) 緊急対応期間の事業資金の確保、事業の維持

20年4月頃～

(3) 将来の成長に向けた準備(ポストコロナも見据えた準備)

(1) 従業員の健康管理と感染拡大の抑制

- **3密(密閉、密集、密接)の防止を基本とする諸対策**
- **ソーシャルディスタンス確保のための交代出勤とテレワーク推進**
- **混雑を避けるための時差出勤、昼休憩時のフレックスタイム制**
- **公共交通機関利用の抑制**
(浦和事務所・大阪営業所は一時閉鎖)
- **グループネットワークを活用した安全支援体制(マスク配布等)**
- **出勤時、工場入門時の検温実施**

(2) 緊急対応期間の事業資金の確保、事業の維持

- 運転資金の圧縮、最小化
- 銀行とのコミットメントライン契約(融資枠40億円)の締結
- 投資の抑制(必要不可欠なもの以外は当面の間、凍結)
- 生産調整による一斉休業日の実施
- 固定費(経費)削減
 - 役員報酬、管理職給与の一部返上(20年4月から9月)
 - 業務の簡素化による時間外勤務の削減
 - 一時帰休の実施と雇用調整助成金の活用
 - 経費圧縮

(3) 将来の成長に向けた準備(ポストコロナも見据えた準備)

- **コロナ発生前の売上高の8割程度でも営業損失にならない体質への改善**
 - **環境の変化にも迅速、柔軟に対応できる体制構築**
 - **不採算案件への対処**
 - **経営資源の最適配分**
 - **間接部門を中心とした業務のあり方と働き方の改革**
 - **テレワークの推進**
 - **Web会議の環境整備**

株式会社 **フコク** 第67回定時株主総会
(継続会)